

「上越市創生総合戦略」は安定した雇用の確保を最優先に 日本共産党上越地区委員会・市議団が上越市に予算要望書提出

日本共産党上越地区委員会と上越市議員団は先月28日、2016年度予算編成に関する要望書をまとめ、上越市に提出しました。日本共産党上越市議員団の上野公悦、平良木哲也議員と私が参加し、宮越浩司総務管理部長に手渡しました。

要望書は基本項目が「『上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略』は安定した雇用の確保を最優先に」など7つ、「市民の安全、くらしをささえるための重点要望」が11の柱、85項目に及ぶものです。

このうち、重点要望のひとつに位置づけた「誰もが安心して産み育てられるために」という項目では、子ども医

療費助成は通院も高校卒業まで広げること、病児保育を市内全域でおこなえるようにすること、妊産婦医療費助成の所得制限をなくすこと、上越地域医療センター病院と各診療所の連携をさらに強化すると同時に、医師・看護師の確保に努めるなど、市民医療の充実をさらに図ることなど6項目の実現を求めました。

上野議員（地区委員長）は、「要望は市民から寄せられたもの、議会で取り上げたものなど多岐にわたるが、ぜひ取り上げていただきたい」とのべました。要望書を受け取った宮越総務管理部長は、「市長に伝えます」と答えました。

要望書の全文は党市議団のホームページに近く掲載する予定です。

以下は市政運営の基本とすることをまとめた項目の柱です。

1、安全保障関連法、原発再稼働、消費税増税など、国民の声を無視した安倍政権の暴走に対してノーの意思表示と行動を。

2、「上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は安定した雇用の確保を最優先に。

3、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を許さず、市民の安全を守る立場で原発のない日本を。

4、「安心と安全のまち」へ、市民のいのちと健康を守ることを最優先に。

5、中小企業振興基本条例、公契約条例の策定を含め、産業振興政策を抜本



的に強め、正規雇用の拡大と雇用環境の整備をはかり、地域循環型の経済を。6、市民の声を反映させた持続可能な公共交通を。7、金のかかりすぎる大型施設の建設などの公共事業を大幅に見直し、市民生活に直結する事業への予算配分を。

元旦から街頭へ

今年には戦後最悪と言われる安倍内閣の政治との対決の年です。また、上越市民の暮らしに大きな影響を与える市議選の年でもあります。

私は元旦から街頭に出て、安保法制



【ヒメオドリコソウ】暖冬のせいでしょうか。農道のあちこちに咲いていました。花が開いた時は、たしかに踊っているように見えますね。外来種でシソ科。漢字で「姫踊り子草」と書きます。吉川区大乘寺にて撮影。

柏崎刈羽原発は動かしてはならない：立石雅昭新大名誉教授の講演
日時 1月16日午後6時半から8時半
場所 吉川コミュニティプラザ大会議室
入場料 無料。ぜひお出かけを！
主催 日本共産党上越市議会議員団



昨年の暮れに高田のYさんからいただいた絵手紙です。

はしづめ法一の活動レポート

No.1739 2016.1.10
発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら
橋爪法一 検索

K子さんに宣伝カーのアナウンサーを頼んでいなければ、その場面に合うことはなかったでしょう。山寺薬師へ行った時の、K子さんの「お父さん、良かったね」の一言がこんなにも私の心を熱くしてくれるとは……。

一月上旬、私は板倉区国川に住むK子さんとともに、猿供養寺から東山寺に入りました。東山寺はこれまでも町議選の応援などで何回か訪れています。でも、私はそこがK子さんのお連れ合いで、三年前に亡くなった雄二さんの生まれ故郷であるとは知りませんでした。私は、雄二さんは栗沢の出身だと思いついていたのです。

宣伝カーを走らせ、東山寺が見えてくると、助手席に乗っていたK子さんは、「あそこがうちの家のあったところなんです」と教えてくれました。雪が二〇センチほど積もっている平らな場所でした。すでに家屋はなく、家があったことを教えてもらわなければ住居跡だと確認できなかったと思います。

集落センターのあるところからさらに奥に進んで、坂道を四〇〇ほど上ったところに山寺薬師の駐車場があります。そこで車を回転させ、下ろうとしたその時に、私の目に入ったのは何本もの大きな杉とそのそばを上の方へと続く石の階段でした。とても美しい。しかも薬師堂への石段は苔むして、歴史を感じさせます。私がこの石段を見たのは初めてでした。

これは写真に収めなければと思ひ、私は車を降りました。すると、K子さんが私に語りかけてきました。「うちの墓も上にあるんです。お父さんもそこに入っているんです。水呑み百姓でありながら高いところに置いてもらっているんですわ」

上りきったところには薬師堂だけでなく、議員として志を同じくしていた雄二さんの骨を納めた墓もある。それを聞いただけで、私は石段を上ってみたいと思いました。この機会を逃したら、上るチャンスはやってこないような気がします。

石段を上りはじめたら、下で見た以上に趣があつて、石段は見事に上の方へと伸びています。ところどころに雪が残っていて、杉の葉もパラパラと落ちていました。両脇に大きな杉がそそり立っていることで醸し出されているのでしょうか、石段が続いている空間は数百年という時間をそこに集めているような重々しさがありました。

石段は後で調べてわかったことですが、二〇九段もありました。休みなしで上るにはきつい段数です。石段を半分ほど上ったあたりから石仏が右に左にと置いてあります。全部で十数体はあつたと思ひますが、いずれの石仏もやさしく微笑んだ顔をしています。この顔を見れば、誰でも、もう少し頑張ろうと思つてしまうね。

やっこの思いで石段を上りきると、正面に薬師堂がありました。その西には墓地と納経堂があります。私はまず墓地に向かいました。積雪は四〇センチほどありました。私は雄二さんが入っている墓の近くまで行って手を合わせました。ほんの数秒間、目をつむっているときのことでした。後ろの方で「お父さん、良かったね」という声がしたの。

薬師堂の中に入って、釈迦如来座像など薬師三尊像に手を合わせたときにも、K子さんの「お父さん、良かったね」という声が聞こえてきました。亡くなって三年経つてもちゃんとお連れ合いに心を寄せている。その姿に私もうれしくなりました。そして思い出したのです。毎週、雄二さんの自宅へ私のレポートを届けに行つたとき、片方の目を眼帯で覆つた彼が「よつ、ご苦労さん、ありがとね」と言つてくれたことを。

「三和の水とみどりを育てる会」が県交渉

12月25日の午前、「三和の水とみどりを育てる会」（長尾厚子代表）が三和区宮崎新田地内の産業廃棄物に関して新潟県上越地域振興局健康福祉環境部環境センターと交渉しま

した。今回の交渉には会員及び上越市民10数人が参加しました。私も平良木市議とともに参加してきました。

交渉では、これまでの経過のなかで木くずを残したことについて激しい議論が行われるとともに、今後の対応についても話し合いが行われました。

このなかで黒崎センター長は、「いまも違法状態が続いているが、上越市長は市議会で一歩踏み込んだ答弁をされ、ようやく全面解決に向かって前進したと喜んでいる」「市長は重要な決意をされたので、いろんな面で県としてできるサポートをしていきたい」とのべました。市も県も解決に向けて動くということです。

切り絵の西山さんと

年末に、切り絵で活躍されている市内石橋在住の西山英夫さんとお会いしました。



西山さんは昭和をテーマにいろんな作品を次々と発表されています。お会いしたのは食堂・喫茶「あひる」です。ちょうど展示作品を入れ替えに来られたのでした。作者から直接、作品について語ってもらえるなんて幸運

でした。正月を前に命をいただいたニワトリをぶらさげているおじいさんの絵、ごらんください。懐かしくなりますね。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月23日(水)	1月6日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.057	0.040
新井消防署	0.040	0.043
頸北消防署	0.053	0.053
頸南消防署	0.060	0.053
東頸消防署	0.040	0.060
高士分遣所	0.053	0.050
名立分遣所	0.053	0.053